



COURT MAIL

No.66

発行 神奈川県女子テニス連盟 (JLTTF 神奈川県支部) 広報委員会
 責任者 林三枝子
 事務局 貴美子

第24回 全国レディーステニス全国決勝大会

昭和の森スポーツセンター 11月6日～8日

■埼玉県が6年ぶりの優勝

今大会より名称が全国レディーステニス大会と変更になり、ソニー生命保険(株)の協賛を得て新たなスタートです。さわやかな秋晴れのもと昭和の森スポーツセンター(昭島市)に都道府県大会を勝ち抜いた282人の代表選手が集まりました。会場が遠くなり観客動員が危ぶまれましたが、朝早くから大勢応援に駆けつけて、選手たちに力強い声援を送っていました。

神奈川県代表は1回戦鹿児島県、2回戦広島県に快勝し、2日目の3回戦で栃木県と対戦。相田・佐々木組は先勝しましたが、続く大場・我妻組、高橋・水川組は共にタイブレークも交える大接戦の末、惜しくも敗れ、ベスト16となりました。



佐々木・相田・水川・高橋・我妻・大場

■大会を終わって

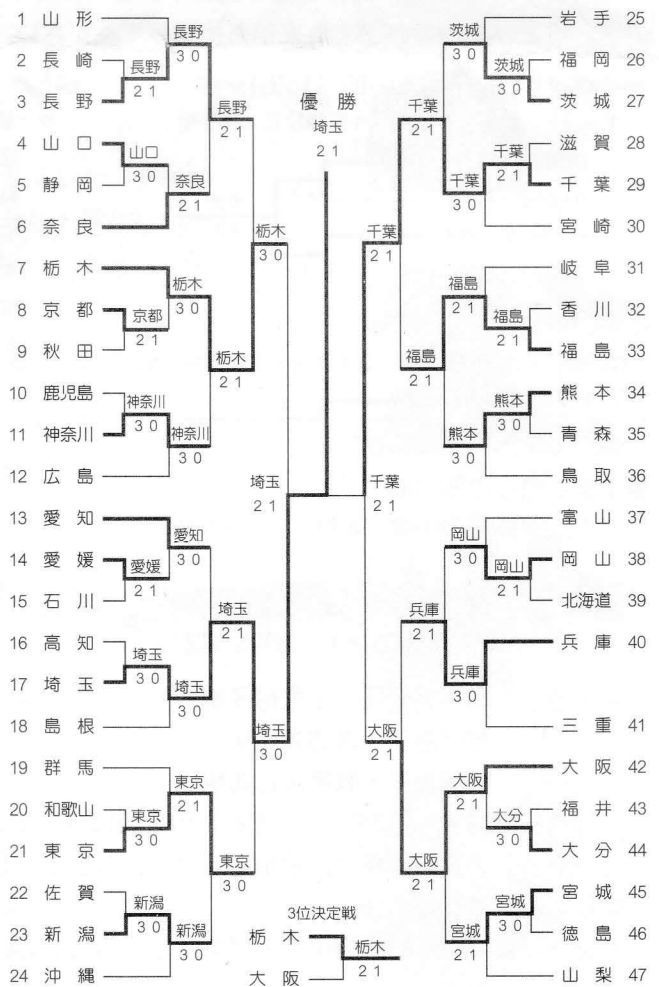
「たくさんの方々にご指導いただき短期間に色々なことを学ぶことができました。No.1にポイントがかかったときに勝つことができず悔いが残りますがまた挑戦したい。(高橋・水川)

「関係者の皆様に支えられて本大会を万全な態勢で望むことができました。力不足で今一步足りないところもありましたが得るところもたくさんありましたので次回に活かしたい。

(大場・我妻)

「キャプテンとしては力不足で皆様にご迷惑をかけましたが、日に日にまとまりが出てきてよいチームでした。若いチームなのでまた活躍できる時があると思います。頑張りますので応援をお願いします。(相田・佐々木)

全国決勝大会組み合わせ



全国レディーステニス神奈川県大会

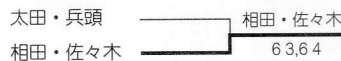
三ツ沢公園テニスコート 9月24日～26日

予選6会場合計549組の参加者の中を勝ち上がった64組で本選は行われました。

大会初日から激戦が繰り広げられ、この中から全国決勝大会へのキップを手にした3組は、実力、気力を兼ね備えた平均年齢32.5才の若さのチーム。ポイントごとにタッチ! プレッシャーのなかにも余裕の笑顔で楽しそうな戦いぶりでした。



●3位決定戦



2002 母と子のテニス大会

小田原テニスガーデン 50組 8月8日

朝からカンカン照り、午前11時にはコート上の温度計は最高点に達していました。子供たちは猛暑の中、冷房完備の救護室で休息を取り、用意された氷をしゃぶりながら体力の温存に努め熱中症にもならず頑張りました。

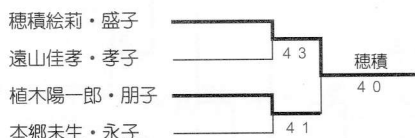


午後からはちびっ子テニス教室、ターゲットテニス、すいか割りとお楽しした一日でした。

「親子で初めて参加…思い出になる」、「いつもシングルスばかりなのでお母さんとダブルスをやって楽しかった」、「昨年負けて悔しかったので一生懸命練習し、よい結果が出せてうれしい」、「こどもに叱られながら頑張りました」。負けて悔し涙の子供を「よくやったね」となぐさめるお母さん。悲喜こもごも、勝負の世界はきびしいけれどまた来年も挑戦してください。

●小学1年生～4年生の部 (15組)

☆決勝トーナメント優勝 穂積絵莉・盛子組



●中学生女子の部 (7組)

☆決勝トーナメント優勝 新井未来・中田美栄子組

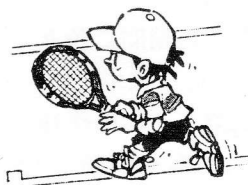
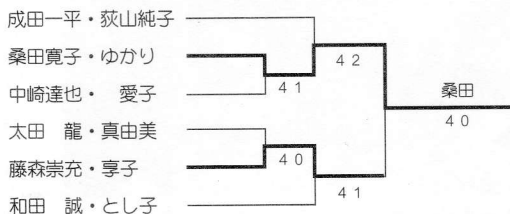


●中学生男子の部 (4組)

☆リーグ優勝 藤井健・里奈組 3勝0敗

●小学5年生～6年生の部 (24組)

☆決勝トーナメント優勝 桑田寛子・ゆかり組



第2回 軽井沢CUP (年齢別チーム戦)

風越公園コート 8月21日

参加選手: 青木美保子・上原裕子組

村岡裕子・渡辺永海組

飯塚恵子・藤原よし美組

美知花杯優勝チームが参加できるこの大会は今年で2回目となり、本年も各県粒ぞろいの選手ばかり。参加選手は、前日観光、2日目大会と軽井沢を満喫したようでした。

長野県役員の方々に感謝申し上げますとともに、この大会が末永く続くことを願っています。

(監督 入澤)

大会結果

- 1位 埼玉
- 2位 東京
- 3位 神奈川
- 4位 長野
- 5位 千葉

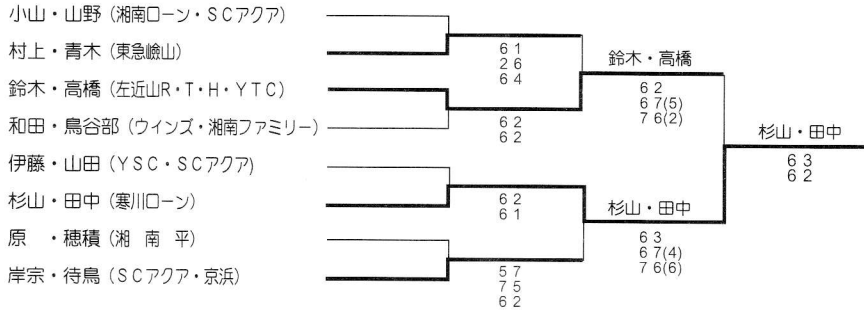
第35回 神奈川県女子テニス連盟 ダブルストーナメント

厚木南毛利テニスコート 11月20日~22日

第35回を数える伝統あるこの大会に、今年から新たに65才以上の部が加わり2組がエントリー、総計104組の選手たちの熱戦が繰り広げられました。

最終日は朝から今にも雨が降り出しそうなあいにくの天気でしたが、冷たい空気を選手の熱気が吹き飛ばすような熾烈なゲーム展開になりました。5面のコートすべてがフルセットに持ち込まれ、観客は緊迫したプレーにくぎ付けとなり、ナイスプレーにあちこちから賞賛の声が聞かれました。先輩が築き育ててこられたこの大会は、一年の最後を締めくくるのにふさわしいすばらしいものとなりました。

●一般の部 64組



田中・杉山

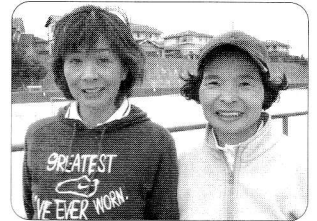
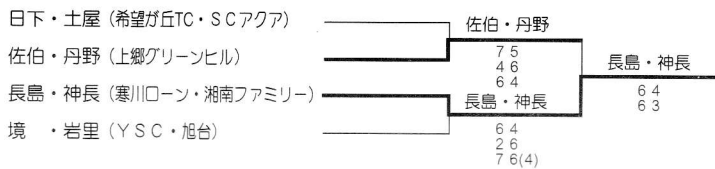


鈴木・高橋

♥うれしいのみ、つらい試合もありました。組み込んできた成果が表れた楽しい三日間でした。(杉山・田中)

♥くやしい!! 次は勝ちたい。また頑張ります。(鈴木・高橋)

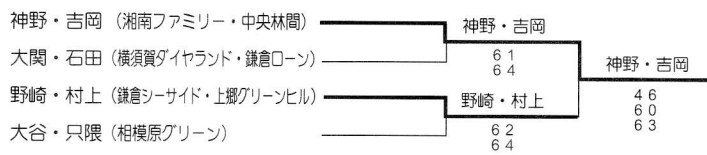
●50才以上の部 22組



神長・長島

♥準決勝はチャレンジャー。一球を見つめて頑張りました。決勝は欲を出さず一つ一つボールに集中しました。(長島・神長)

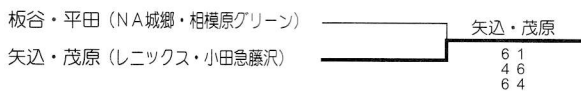
●55才以上の部 10組



神野・吉岡

♥厳しい戦いでしたが二人の気持ちのコンビネーションがよくなり、きょうの勝利に繋がりました。(神野・吉岡)

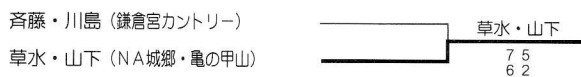
●60才以上の部 6組



矢込・茂原

♥久しぶりの試合でしたがよい緊張感でした。1年ぶりに組んで楽しいゲームでした。(矢込・茂原)

●65才以上の部 2組



山下・草水

♥年齢別ができてうれしい! 健康でテニスができるうれしい!
(草水・山下)

第24回 ブロック別シングルストーナメント

Aブロック

等々力庭球場

10月1日~4日

●一般の部 108名

矢川 京子 (京浜)			
青木美保子 (東急線山)		6 0	青木
		6 1	
中野 恵子 (NA城郷)			6 1
		7 5	6 0
吉田 幸子 (ケンウッド)		7 5	

●50才以上の部 9名

敦井 規代 (霧ヶ丘)			鈴木
鈴木 泰子 (京浜)		6 3	
		6 0	



青木・吉田



鈴木

♥優勝できてうれしいです。ありがとうございました。(青木)
 ♥準優勝できるとは思っていませんでした。自分なりに一生懸命頑張りましたが、もっと技術をみがいて明日からも楽しくボールを追いかけたい。(吉田)

♥役員の方々台風等で大変だったと思います。ありがとうございました。(鈴木)

Bブロック

南郷上の山公園、横須賀ダイヤモンド

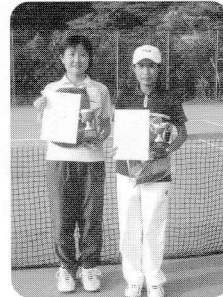
10月2日~4日

●一般の部 60名

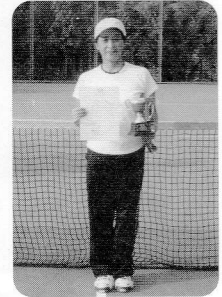
鈴木 勝江 (ラ・ペーラ)			
原 綾子 (大塚クラブ)		7 5	小島
		6 1	
小島 英子 (横須賀)			7 6 (4)
		3 6	6 4
福田 和代 (S.C.アクア)		6 1	
		6 4	

●50才以上の部 18名

谷 寿子 (サンブリッジ)			五十嵐
五十嵐とも子 (横須賀ダイヤモンド)		6 0	
		3 6	
		6 4	



小島・鈴木



五十嵐

♥どの試合も1ポイント1ポイントずつとやっていました。優勝できてとてもうれしいです(小島)

♥皆さんのおかげで卒業できました。ありがとうございました。(鈴木)

♥皆さんのおかげでよたよたしながらやれました。ありがとうございました。(五十嵐)

Cブロック

桃浜、厚木国際

10月2日~4日、7日

●一般の部 111名

野崎 映子 (湘南平)			
原 葉子 (湘南平)		6 3	原
		7 6 (3)	
臼井 昌子 (湘南平)			7 5
		6 4	6 3
戸田富美子 (アミテイ)		6 4	
		6 2	

●50才以上の部 23名

小久保恵子 (鶴沼グリーン)			小久保
伊藤 文江 (湘南口ー)		4 6	
		6 2	
		6 2	



戸田・原



小久保

♥準決勝のときから足に痛みがはしり、決勝では「自分のペース」でがんばれてよかったです。(原)

♥卒業できるなんて夢みたいです。「うれしい」の一言です。応援ありがとうございました。(戸田)

♥去年の屈辱を晴らしました。体調を整えて最後までプレーできたことを喜んでます。応援してくださった方々ありがとうございました。(小久保)

Dブロック

相模原グリーン

10月22,23,25日

●一般の部 60名

相原 弘美 (サントリー)			
伊藤 若子 (Y.S.C)		0 6	吉崎
		6 3	
吉崎 友子 (サントリー)		6 1	6 2
		2 6	2 6
山下美智子 (相模原グリーン)		6 2	6 4
		3 6	
		6 4	

●50才以上の部 9名

長島 利子 (Y.S.C)			長島
長田 邦 (亀の甲山)		6 2	
		6 2	



相原・吉崎・長島

♥一生懸命練習してきました。優勝できてうれしいです。(吉崎)

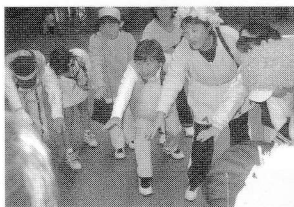
♥練習してくださった皆様のおかげです。ありがとうございます。(相原)

♥練習や応援をしてくださった皆様のおかげで優勝できました。ありがとうございました。(長島)

第13回 ブロック対抗親睦戦 横浜国際プール 12月13日

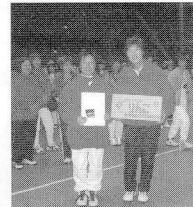
思わぬ雪のため日程が変更になり役員さんは選手の調整におおわらわ。メンバーの変更や役員さんが代理で加わるなど、当初の予定を多少手直しての開催となりました。1ラウンドはAとD、BとCが対戦。Aブロックが地の利もあって、大勢の応援団の声援を受け見事優勝。昨年の雪辱を果たしました。

●優勝 Aブロック
スタートから気合い十分!



♥ 念願がかなって優勝。とってもうれしい!
選手の方々と応援の皆様のおかげです。
(西村)

●2位 Cブロック
ブロック長もがんばりました!



♥ 日程の変更で楽しみにしていた選手が出られなくなり残念。
力不足でしたが役員でカバー。みんな一緒に楽しみました。
(浜野)

●応援賞 Bブロック (3位)
お手製のマラカスで賑やかに応援!



♥ 日程が延びたため選手9人、助っ人10人とギリギリ。
応援だけでもとがんばり、賞をいただき満足です。
(土屋)

●おしゃれ賞 Dブロック (4位)
小道具までピカピカのピンク!



♥ 1ポイントの差で4位に甘んじました。
チームワークはブロックのなかでも一番。
(土屋)

第4回 関東八都県シニア親睦 かながわ大会 小田原テニスガーデン 12月5,6日

監督 入澤 多恵子

選手 50~54才 神長・長島組 55~59才 神野・吉岡組 60才以上 三浦・高橋組

12月というのに汗ばむほどの陽気。富士山を背景に八都県の選手が小田原に集合しました。

シニアというもののヤング顔負けのストロークや破壊力あるスマッシュ。疲れを知らない?見事なフットワークの選手とまだまだ現役同志の戦いでした。

神奈川はリーグ戦1位でトーナメントに進出。決勝戦はリーグでしのぎを削った埼玉県と再び対戦。3-0と圧勝してみごと四連覇を飾りました。

試合後はスパウザ小田原に移り、表彰式と親睦パーティが和やかに催されました。各県趣向を凝らしたかくし芸あり、わが県も練習を重ねたフラダンスを披露。パーティの最後に花を添えました。

来年は栃木県で開催されます。



1位 神奈川県	2位 埼玉県	3位 東京都	4位 茨城県
5位 千葉県	6位 群馬県	7位 栃木県	8位 山梨県

第12回 すみれ会チームトーナメント 54チーム

荏原SSC 9月17,18日/横浜スポーツマンクラブ 10月8日,15日

不順な天候に悩まされた大会でしたが、54チームの参加を得て盛会のうちに終了し例年にも増してすばらしい大会になりました。予選、本戦と進むうち親睦といいながら皆、勝負師に変身。白熱した試合を展開し見ごたえのあるものでした。今年は初めての試合方法で行われ戸惑うことも多かったのですが、選手の皆様の協力が無事終了し役員一同感謝しております。(小林節子)。

●ピオラチーム

プリメリア			
まだ・まだ・ひよこ	2 1	プリメリア	
ブルースカイ			2 1
おひめさま	2 1		

●パンジーチーム

花あらし			
麦わら帽子	3 0	麦わら帽子	
極楽とんぼ			3 0
湘南フラワーズ	2 1		



優勝
プリメリア

♥予選突破を目標にチーム作りをしました。思いがけない優勝という結果となりうれしいです。また来年も参加したい。



優勝
麦わら帽子

♥麦わら帽子という季節はずれのチームではありますが、思いがけず狂い咲きしてしまいました。万歳!万歳!



準優勝
おひめさま

♥おひめさまと皆に笑われここまでできました。最後まで私たちの気分はやっぱり お・ひ・め・さ・ま!



準優勝
極楽とんぼ

♥2年連続準優勝でうれしい。若い方たちが応援に来てくださりクラブにまともりができました。

第7回 すみれ会親睦旅行 東北の巻

40名 10月30日~11月1日

久しぶりに学生に戻った気分バスに乗り遅れてはと、まだ薄暗い中チョッピリ寒さを感じつつ集合場所である横浜駅へ向かいました。観光バスで一路福島へ向けて定刻に出発です。早朝にもかかわらず皆様目覚めパッチリ、さすがすみれ会。途中渋滞もなく、定刻より少し早く福島市営コートに到着。高速道路を下りる頃、とてもきれいな大きな虹が私たちを迎えてくれました。福島の方々と親善試合です。私たち神奈川のメンバーを聞いて集まってくださった方は、現役の選手たち。我々も長旅の疲れも忘れ、強風の中試合開始で楽しいひとときを過ごしました。終了後初日の温泉宿へ、夜の宴会も多芸で盛り上がり時間の過ぎるのを忘れるほどでした。二日目蔵王観光は例年より早い降雪のため通行止めとなり、ルート変更になりましたがフルーツラインを通って、リンゴをお土産に買い立石寺と最上川下りで晩秋を満喫しつつ二日目の宿鳴子温泉へ、翌日は松島観光と仙台市内を廻って全員無事に帰浜。全工程バスの長旅も修学旅行を思い出させる楽しい旅でした。参加いただいた皆様ありがとうございました。(矢後八重子)

ふれあい

夢にむかって

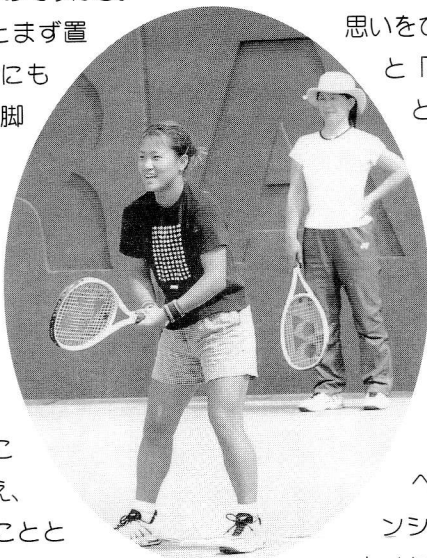
藤原美智子

長女（里華）がプロになって3年半が経ちました。実はプロ転向後1年目にして大きな壁にぶち当たり、元気で底抜けに明るかった娘が自信を失い、たったの1年で小さいころからの夢を見失いボロボロになってしまったのです。“テニスをやめたい” “もう二度と海外に行きたくない” という娘が「ママと一緒にまたやってみる」というのですから。

今までの生活、仕事も家庭もひとまず置いて、夫と当時高校1年生の次女にも背中を押され、母と娘の二人三脚が始まったというわけです。

そのころの里華は一日も早く世界のトップに近付きたいという焦りと、苦しくつらい日々をすごさなければ強くなれないと思い込んでいるところがあったので、まず“遠征を楽しむこと”そして“ゆっくり遠回りをすること”というふうな考え方を切り替え、毎日二人で基本練習を繰り返すこととなりました。

思い返すと色々なことがありました。アメリカでレンタカーでの移動中、パトカーにサイレンを鳴らして追跡されたこと。最終便の飛行機がキャンセルになってラスベガスの空港で野宿を強いられたこと。タクシーに乗って、チップをもっとよこせとすざまされたこと。二人で行ったはじめての



※写真：娘の練習を見守る私

アメリカ遠征では、夜遅く着いた駅が無人駅でまわりには建物もまったく無く、しかも乗った電車が終電だったため、しばらくすると駅の電気が自動的に消え、真っ暗な中に二人きり、あまりの怖さにへらへらしながら写真撮影をしたりしていました。そのときどんなに娘がそばに

いたことが心強かったことが。今までこんな思いをひとりぼっちでしていたかと思うと「もう一人で海外に行きたくない」といっていたことも当然と思うのです。不思議なことに、二人でいれば1時間後には「こわかったよねー」と笑い話になっているのですから。

すっかり元気を取り戻した娘は、昨年は幸運にも全日本のタイトル（単、複）をとり、今年はダブルスで全豪ベスト8、全仏ベスト4、そして年末のチャンピオンシップスに出場することができ、ベスト4に入りました。

寂しがりやの娘は二人で戦うダブルスのプレーのほうがどうも元気がよいようですが、来年はシングルスでもグランドスラム本戦を勝ちあがれるよう、頑張っていきたいと思います。



ひまわりテニス大会



Cブロック（第9回）10月22日

桃浜庭球場 64組

鶴沼八部運動公園 32組

秦野中央運動公園 64組

前日の激しい雨に、秦野のクレイコートが使用できるかどうか役員一同心配しておりました。しかし当日はすばらしい晴天に恵まれ、開始時間を少々遅らせることにより無事終了することができました。

桃浜コートではコーチ、先輩、同僚の応援に選手の皆さんは少々緊張されながらゲームを楽しんでいるようでした。皆さまのご協力に感謝します。
(Cブロック長 浜野ちず子)

募金報告		寄贈先	
・A L T 基金	65,017円	・スペシャルオリンピクス日本へ	10万円
		・NPOファミリーハウス（難病の患者家族の滞り場所）に	25万円
		を日本女子テニス連盟が寄付。その一部を担いました。	
・難民教育基金	160,380円	『日本女子テニス連盟国連難民対策募金窓口』口座振り込み	

第11回 ヨコハマ・ハンディ・テニス大会

11月17日(日)肌寒い曇り空の下、横浜三ツ沢公園テニスコートにおいて、障害者と健常者によるダブルス大会が開催されました。

今年も西は京都から、東は茨城まで一都七県、210名が集い、選手・ボランティアの熱い思いと意気込み、寒さも吹き飛ばす熱戦が繰り広げられました。

障害者のクラブ『ハンディ・テニスヨコハマ』の皆さんは、準備から積極的に大会運営に参加し、受付、選手宣誓、大会司会、表彰品の授与、閉会式挨拶、等を担当いたしました。

選手とボランティアが一体となって汗を流すこの大会がますます楽しく長く続くことを願っています。多くの方々のご協力を心より感謝申し上げます。

(大会委員長 牛村智恵子)



2002 ダンロップレディーステニス トーナメント

荏原SSC 10月10日

申し分ない好天気のもと初心者クラス12組、一般クラス64組が参加して開催されました。ラウンドロビンの後、1, 2位グループと3, 4位グループに分かれてのトーナメントが行われ、選手にとってはハードな一日。運営側も186マッチのコート割りに目の廻る忙しさでした。

過酷な日程にもかかわらず、素晴らしい選手の方々が大勢参加して、あちこちのコートで厳しい戦いが繰り広げられ、とても見ごたえがありました。

- 一般の部 1, 2位グループ優勝 荷川取・松本組 3, 4位グループ優勝 大山・沖組
- 初心者の部 1, 2位グループ優勝 小田切・中村組 3, 4位グループ優勝 落合・澤田組

(担当 竹田)

『横浜ワールドテニス』を終えて 横浜国際プール 11月23日~12月1日

(審判委員長 齋藤貴代)

A T P男子国際公式戦「横浜ワールドテニス」も今年で4回目。私たちがラインアンパイアとして、R & S 専門学校テニス科の学生11人との混成チームで参加しました。

審判初体験の学生もいて心配しましたが、素直で明るい学生たち。先輩審判員の「ラインの見方のポイント」等のミーティングで、日々成長の見られる大会でした。

チャレンジャーで若く、思い通りにならないと騒いでラケットを投げ出す選手もいましたが、神奈川の新人審判員坂口恵美子(旧姓岡川)さんはさすがプロのテニスプレーヤー「選手がラケットを投げたとき、拾ってプレーをしたかった!」とのコメントに、少々緊張気味だった控え室が和みました。

大会のスーパーバイザーのトム・バーンズ氏より「密度こく現場を積んで」の指摘がありました。これからもみんなで力をあわせて「よりレベルアップ」を目標にしましょう。

■ 神奈川県女子テニス連盟会員数

総会員数 2,833名

・一般会員 1,460名 ・すみれ会員 1,373名

計報

・木村澄子様(鎌倉ローンテニス倶楽部) Bブロック

・天野祥子様(和泉テニスクラブ) Dブロック

……………ご冥福をお祈りいたします。



■ 編集後記 ■

・取材はもちろんのことパソコン、デジカメまだまだ未熟者ですが、親しみの持てる紙面作りを心がけてまいります。(齋藤)